



内 容

学期・月	小単元	学習のねらい・主な内容
1 学 期	4 オリエンテーション(1) ヨーロッパ人との出会いと 天下統一	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の授業の目標、内容、評価などを知る。 ・ヨーロッパの動きが日本の歴史に与えた影響を学び、信長と秀吉による統一事業の過程を調べ、近世社会の枠組みに気づく。戦国の動乱、ヨーロッパ人の来航、織田信長、豊臣秀吉、朝鮮出兵、南蛮文化
	江戸幕府の成立と鎖国	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地の生活や伝統的な文化の特色を理解し、近代化や国際化が進んでいることを学ぶ。 ・江戸時代の社会変動のようすやそれに伴う幕府政治の動きについて理解する。元禄文化、享保の改革、百姓一揆、田沼意次の政治、寛政の改革、化政文化、天保の改革
	5 産業の発達と幕府政治の動き	
	6 世界から見た日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地形や気候の特色を、世界の自然のようすと比較し、関連づけて学ぶ。
2 学 期	7 世界と日本の人口	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人口分布やその推移を学び、日本の人口構成や過疎・過密の問題点などについて考えさせる。
	世界と日本の資源・産業 広がる地域空間の結びつき	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の農業、工業、林業、漁業などの特色を世界の国々との比較しながら学ぶ。 ・日本の進んだ交通や通信網や世界との結びつき、さらに世界と日本の貿易のようすを理解し、交通や通信網の発達と人々の暮らしの変化について考えさせる。
	9 九州地方 中国・四国地方	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然環境に関する特色ある内容を中心に、自然環境が人々の生活や産業などと深い関係を持つ事を知る。 ・地域の交通や通信に関する内容を中心に世界や日本の他の地域との結びつきの影響を受け変容していることを知る。 ・地域の環境問題や保全の取り組みを通して、それを産業や人々の生活と関連づけて保全の取り組みの大切さを知る。 ・産業に関する特色を中心に、それを成立させている地理的な条件と関連づけ、地位に果たす産業の役割を考える。 ・人口の分布や動き、そして人々の生活や産業の現状をもとに、過疎や過密の解決が課題となっていることを考える。
	10 近畿地方 中部地方 11 関東地方 東北地方 北海等地方	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や歴史的背景をもとに、伝統的な生活や文化が都市化や国際化によって変化してきていることを考える。 ・開発の歴史的背景を知り、それが地域の産業や文化などの特色に大きく影響していることを理解する。
12 身近な地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の調査活動によって、日々の生活領域に関する所持賞に関心を持つ。春日部市 埼玉県 ・地図の作成や地形図の読図、統計データの作成や分析など具体的な調査技能を身につける。 	
1	欧米の進出と日本の開国	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国の産業革命やアジア進出のようすと、江戸幕府滅亡までの動きを学ぶ。フランス革命、産業革命、アヘン戦争、ペリー来航、開国、大政奉還、王政復古

3 学 期	2	明治維新 日清・日露戦争と近代産業	<ul style="list-style-type: none"> ・明治新政府の諸改革の内容や人々の生活の変化について理解し、その後の自由民権運動の動きについても学ぶ。 ・明治維新、文明開化、自由民権運動、大日本帝国憲法 ・日清戦争から日露戦争までの国内のようすや戦争の影響について、政治・産業・社会などの面から学ぶ。帝国主義、日清戦争、日露戦争、韓国併合、産業革命
	3	1年間のまとめ(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習内容の整理をする。

評 価

<評価の観点>

- ① 関心・意欲・態度
 - ・社会的事象に関心を持ち、それを調べたり、考えようとしている。
 - ・授業に真剣に参加している。
 - ・提出物をきちんと出すことができる。
 - ② 社会的な思考・判断
 - ・課題を見出したり、社会的事象の意義や特色、相互関係を考え、判断することができる。
 - ③ 表現・処理
 - ・地図や統計、新聞や映像など有用な資料を適切に活用したり、ノートやファイル、レポートを適切に表現している。
 - ④ 知識・理解
 - ・社会的事象の意義や特色を理解し、その知識を身につけている。
- <評価の方法>
- ・毎時間の授業への取組、定期テストの結果、プリント、ワーク、ノートやファイルの内容、提出物の状況、自己評価カードなどを基にして総合的に評価する。

教材・テスト・学習方法

授業の評価は、次のような観点方法で行います。



<使用教材>

- ・教科書・地図帳・資料集
- ・自作プリント
- ・ワークブック…基礎基本を身に付け、応用力を伸ばすための問題集

<テスト・提出物>

学 期	テ ス ト	提 出 物
1 学期	中間テスト・期末テスト	ノート、プリント、ファイル、ワークブック
2 学期	中間テスト・期末テスト	
3 学期	期末テスト	

<学習の進め方>

